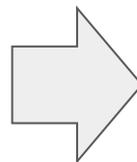
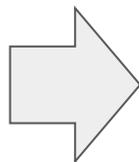


○デザインコンセプト

テーマ：まちづくりバー ～仲間探し～

Cチームで用意した空間に、レクレーションとして楽しめるボードゲームと話しのネタになるまちづくりに関係する雑誌を用意し、「岡谷について」「デザインラボについて」「まちづくり」について語らせるものを目指した。日中はAチームの様子を見ながら観客席として、Bチームの販売物を食べれるような場所として、自由度を持たせた場所にしたいと考えた。蚕糸公園を使われる場とする一つのモデルとして提案したいと考えた。



人の目が気になる，日陰がない
↓
人の目を引く日よけをつくろう

つくった日陰のもと作業をしよう
DIYを経験してみたい！

メンバーで楽しく過ごそう
まちづくりについて考えよう

①当日の感想（良かった点）

- ・**工作レベルではなく、クオリティの高い作品が完成した。**
 - ⇒実際に、「かわいいね」と褒めてくれる地域の方がいた。
 - ⇒既製品のテントを使用するよりも、手作りのものは目立つことがわかった。
 - ⇒木材を使用したことで**全体的に統一感**がでていた
- ・**蚕糸公園の問題点であった日当たりを解決する日よけを設置したことにより、人が自然と集まった。**
 - ⇒日よけの大切さ、外からの視界を遮る効果
- ・**ボードゲームを通して自分たちや来てくれた人が楽しめる空間をつくることができた。**
 - ⇒空間をつくること、空間をつかうこと、どちらも大切なことだと確認できた
 - ⇒立ちながらカードゲームをしたり、座りながらカードゲームをしたりと色々な使い方をしてもらえたと思う
- ・**Cチーム内でボードゲームで対決し、楽しむことができた。**
 - ⇒屋根をつくり、テーブルを組み立て、椅子をつくり、その空間で遊ぶという一連の流れができた
 - ⇒Cチームの場所で座りながらAチームの様子を見たり、Bチームのところにかつたものを飲食したりとそれぞれのエリアとの連動が見られた

レイクウォーク側の入り口でBチームの飲食物を購入し
奥へ来られる人が見られた



Aチームの様子は、正面から見る事が
可能（親御さんたちが来られていた）

統一感があり、「かわいい空間」と言ってもらえた

各チームでバランスが取れていた

②当日の感想（反省点・改善点）

- ・ブースに来てくれた人たちと交流することができなかった。
 - ⇒夜の空間まで考えていたが、雨の影響で実施できなかったところは残念であった。
 - ⇒「きれいな空間を作れば人が集まる」ということではなかった。
 - ⇒日陰や椅子、机など戦略的に人が使うことを考える必要性和関わり方まで考えることができればよかった
- ・本棚の配置ミスにより、人の流れを遮ってしまった。
- ・空間作りをC班だけで取り組みすぎてしまった、DIYをまちの人々とできればさらに良かった。
 - ⇒組立に予想以上に時間がかかってしまったため、スタート時間が過ぎても作業が続いた
 - ⇒ワークショップの手法を参考にするなど、参加してくれる人の**動機付け**が難しかった
- ・C班の取り組みが一般客には伝わりづらかった。
 - ⇒**自由度の高い空間**では、過ごし方を例として示すなどの工夫が必要であった
- ・DIYで満足してしまい、空間を彩る余裕がなかった。



写真を撮ってくれる人がいた一方で、通路を塞ぎ、
視界として奥の方を隠してしまっていた可能性あり

過ぎし方の案内板などが必要であった



日が落ちてから、
ライトを灯し、雑誌を読みながら語らう場になるはずだった！

③蚕糸公園の今後の展望

※今後、蚕糸公園がどのような場所になると良いか

- ・人が集まり、岡谷市に活気をもたらす場
 - ・今後も継続的にイベントが行われる場
 - ・まちの活性化に重要である若い世代が近くに集まる(レイクウォーク)という利点を生かす場
 - ・地元の人でも地元ではない人でも自由にまちづくりを体験できる場
 - ・ベンチに座って公園を利用してくれる人が増えて欲しい
- 「次に繋げる」重要性●
 - ・360度見渡せるので、パフォーマンス系のイベントには向いているのではないか
 - ・夕方に人が集まることを活かす、月に1回はやりたい
 - ・イベントのような使い方に加えて、デザインラボの趣旨のようにホームパーティの延長上のような使われ方もどんどんされて欲しい。
(家族同士のあつまり、会社の打ち上げ、小中高生の催し物や実践など)
 - ・デザインラボが、地域の人にとってのきっかけになってくれればうれしい

④パークデザインラボ全体を通して感じた事

- ・まちづくり、特にDIYの楽しさを体感することができた。
- ・共同作業は、かなり仲良くなれる！
- ・地元の人を呼び込み、巻き込むことができるようなまちづくりの難しさを実感した。
- ・普段はあまり集まらない場でも、イベントを開催することで自然と人が集まったり、まちづくりについて積極的に考えてくれる人がいるということが分かった。
- ・「誰かとなら入れる公園」として、向かい合えるテーブルとチェアは蚕糸公園の使い方として応用できないか
- ・普段いる人たちが、暇つぶしとして行える「将棋」や「チェス」の常設も良さそうだった
(海外では、卓球テーブルなどが置いてあるところもある)





ご静聴ありがとうございました